

21世紀の子どもを輝かせる歩育・金沢宣言

日本は世界に類を見ない少子高齢社会を迎えています。同時に、地域コミュニティーはもとより社会の基盤である家族の関係性も希薄化し、孤立と孤独が進む“個”に起因する問題や事件が増えています。これらの影響やダメージを最も強く受けるのが子どもです。さらに、IT化やスマホゲーム、車社会の進展が子どもを野外での遊びや運動から遠ざけ、人間に不可欠な「知力」「気力」「体力」を総合した「生きる力」を弱体化させているとの警鐘が鳴らされています。

「子どもと歩こう運動」を提唱したYUZA宣言から16年がたち、子どもたちを取り巻く環境は大きく変わっています。子どもの脳の発達を促し「生きる力」を伸ばす歩育の重要性がさらに増す中、子どもが歩く動機づけと歩育を充実させる支援体制を強化し、子どもが夢に向かって歩める21世紀とするため、ここに「子どもを輝かせる歩育・金沢宣言」を行います。

【5つの基本理念】

- 歩く習慣で生きる力を高めよう
- 自然を歩き豊かな心を耕そう
- 家族と歩き絆を深めよう
- 友達と歩き思いやりを育てよう
- 地域を歩きふるさとを知ろう

【5つの運動指針】

- 始めよう「まず1000歩」「あと1000歩」
- 五感を使って森、山、街歩き
- 月に一度、家族そろって楽しい外歩き
- 友達と歩き、楽しい語らい
- 歩いて探そう「地域の宝」

金沢宣言の趣旨

- 幼児期の運動は健やかな心身を育む土台です。親が率先し、子どもの歩行量を増やす生活習慣づくりを推進します。
- 「外歩き」や「外遊び」など、子どもの好奇心、創造力、感性を刺激し、考える力や豊かな心を耕す自然とふれ合う機会を増やします。
- 豊かな人間性を形成する原点は家族の情愛です。父母や祖父母と子どもがつながり、世代を越えて一緒に歩く意義や楽しさを発信します。
- 歩育は子ども同士や地域住民との交流を拡大します。子どもの情操を養い、ふるさとを知る場となる地域との連携を強化します。
- 「子どもは日本の宝」を保護者、学校、地域社会の共通認識とし、子どもが安全で安心して歩き、遊べる環境の整備と充実に努めます。

2016. 10. 20 金沢市内の「グランドフォーラム」にて

